

Winter 2025

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

冬号

2025
Winter





土器編③

器や石器について知ろう！



市内各地にある遺跡からは、土器や石器に限らず、さまざまな遺物が出土しています。今号からは、弥生土器に注目して解説していきます。

1 弥生土器ってどんな土器？

特徴 約2,300年前～約1,700年前の弥生時代に作られた土器。基本的には薄手のものが多いです。

作り方 粘土をこねて、ひも状にしたものを積み上げて成形します。土をドーム状にした覆い焼きで野焼をするので、縄文土器よりも高温で丈夫に焼き上がります。

使い方 壺は穀物や水などを貯蔵していたと考えられ、甕は煮炊きに使用されました。脚が付いた高坏は、食器として使われました。日常生活に加え、祭祀の際にも使われました。



壺（泉遺跡）

3 市内から出土した弥生土器は？

完全な形に近い状態で発見された弥生土器を紹介します。弥生時代の土器には、一部装飾性の強いものもありますが、一般的には装飾性が控えめで機能的な形のものが多いです。



（左から）
丸子式土器の壺（渋沢遺跡）
小形台付甕（滝戸遺跡）
壺形土器（月の輪上遺跡）

2 どんな文様がついてるの？

棒状の粘土を貼り付けた「棒状貼付文」や、貝殻や束ねた棒状のものなどで施文した「波状文」、丸めた粘土を貼り付けた「円形貼付文」などさまざまな文様があります。



棒状貼付文（浮文）



波状文（条痕）



円形貼付文（浮文）

※写真上・下は月の輪上遺跡の土器。写真中は渋沢遺跡の土器

“文様”ではないけれど…

底の部分に穴の開いた土器。これは、埋葬に伴う祭祀で使用された土器を再び使うことがないよう、除霊的な行為がなされた結果とされています。



城山遺跡出土の壺

誰かに話したくなる！ 考古学トリビアの壺

多様なくらし

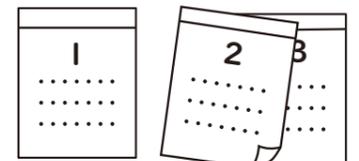
富士宮市の黒田には、弥生時代の遺跡である月の輪上遺跡があります。この遺跡は丘陵の上に立地しており、水田を作るには不向きな土地であるため、畑作や狩猟などが主体のくらしであった可能性があります。弥生時代＝稲作のイメージがありますが、実はもっと多様だったと考えられます。



2025 冬号のプレゼントクイズ！ 何月でしょう？

今回の特集、弥生土器にちなんでクエスチョン！「弥生」とは、旧暦の月の呼び名の一つ。さて何月のことを指すでしょう？…少し簡単すぎましたか？

答えを職員に伝えて、ぜひ埋文グッズをゲットしてください。



バック ナンバー

これまでの『埋文ふじのみや』は富士宮市のホームページでご覧いただけます。



創刊号



Vol.2



Vol.3



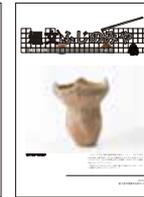
Vol.4



Vol.5



Vol.6



Vol.7



Vol.8



Vol.9



Vol.10



Vol.11



Vol.12



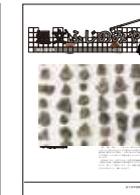
Vol.13



Vol.14



Vol.15



Vol.16



Vol.17



Vol.18



Vol.19



Vol.20



Vol.21



Vol.22



Vol.23



Vol.24



Vol.25



Vol.26

富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315

静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 * 祝日及び年末年始 (12月28日～1月3日) は休館

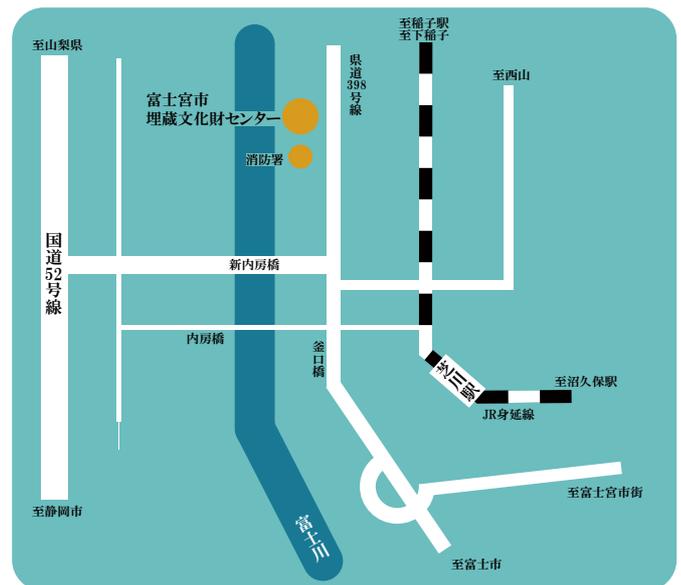
開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり (無料)

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

もぐらのはなし 冬号 (通算 vol.27)

令和7年1月

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター